

議会報告『市民との意見交換会』実施報告書

開催日時	令和4年11月7日(月) 13時30分～15時00分
開催場所	加西市役所議会棟 議員協議会室
出席議員	<ul style="list-style-type: none"> ・班長 黒田秀一 ・副班長 深田照明 ・司会 中右憲利 ・報告者 深田真史 ・記録者 佐伯欣子 ・その他 森田博美 衣笠利則 土本昌幸 ・議長 原田久夫
参加市民数	特定非営利活動法人 災害ボランティア加西らかん(7名)
実施 内容 報告	<p style="text-align: center;">1部 議会報告</p> <p>・12月定例会の議案審議について報告し、次のような質問がありました。</p> <p>○少子高齢化で税収が減ることが考えられるが、減額予算の作成は。</p> <p>・少子高齢化等で福祉などは増額になっているが、今は特にコロナ対策で国からの交付金、補助金が多くなっている。議会は予算編成の権限はなく、予算に対して可否や修正ができる方法はある。</p> <p>○ふるさと納税増加の要因と加西市の魅力について。</p> <p>・ふるさと納税が国の制度としてできた時に、加西市の対応は早く返礼品カタログをすぐに作り配布した。その後もPR活動に積極的に取り組んで、物づくりの技術力が高い加西市の商品が好まれ、ふるさと納税が集まるようになった。加西市の魅力と商工業の技術力などを全国に先駆けてネットでPRをおこなったのも上位になる要因で、今は魅力ある農産物や他の返礼品開発にも取り組んでいる。</p> <p>○加西病院の医師不足について(産婦人科の医師がいない等)</p> <p>・全国的に産婦人科の医師が少なく、議員の中でも議論をしているが歯がゆい思いである。</p> <p style="text-align: center;">(要望：事情はよくわかるが努力は続けてほしい。)</p>
	<p style="text-align: center;">2部 意見交換</p> <p>○加西市ハザードマップを見て地元の危険度が高い地区は把握されていますか。</p> <p>・網引、田原地区では平成22年の大きな水害で網引駅前が水に浸かった。山は民家から離れているので直接的な地滑り等の心配はないが、桑原田のソーラー施設の土砂崩れやため池の決壊が心配である。</p> <p>・北条地区は下里川等2本の川が災害氾濫していたが、富田地区に調整池ができてから災害がなくなった。</p> <p>・富合地区には土砂災害警戒区域4ヶ所があり、民家に近い箇所がある。万願寺川、普光寺川等浸水の可能性もある。大雨、長雨のため、ため池の用水が溢れることもあり通行に危険。</p> <p>・賀茂地区は梅雨や台風の時期には、水を落としてしっかり管理を行い、ため池が決壊しないよう見守っている。</p> <p>・ハイツで山に近い所は地震の時心配だが雨で崩れることはない。</p>

実施内容報告

2部
意見交換

- ・下里地区は、地震、水害(下里川の氾濫、ため池の決壊)が心配される。最近、大雨の時、市から町にため池の水を流すよう連絡がくるので、災害の意識は高まっていると感じる。
- ・富田地区は、下里川の上流も危険とされている。今は川の氾濫も多いので、県も河川の治水対策に積極的である。

○近く重大災害は起きるかもしれないと思われませんか。それは何処でどんな災害でしょうか。

- ・全ての災害が起こる可能性あり。いつ起こるかわからない。
- ・最近では雨の量が多い。線状降水帯が続けば被害がでるかもしれない。
- ・南海トラフ地震が心配。山崎断層への影響があるかもしれない。
- ・地震によるため池の決壊はいつ起きてもおかしくない。

○加西市の防災体制や予算は十分と考えられますか。近隣市と比較してどうでしょうか。

- ・ハード面、ソフト面とも予算が十分ではないので備えの予算を考えることは必要。近隣市との比較は難しい。
- ・自助、共助はできても公助としての防災訓練のための予算は必要。
- ・防災体制として、市は防災無線等に取り組んでいる。
- ・市は安全安心のまちづくり対策の中で行っている。災害が起こってからでは遅いので危機意識は市、議会、市民ともに共有すべきである。

○災害時要支援者の支援計画は、誰が策定・実行することになっていますか。

- ・地域防災計画は国の改正もあるので3月に関係団体で見直しを図っている。策定担当は危機管理課である。要支援者については民生委員により要支援者の調査が行われている。

○地元の自治会で防災訓練は行われていますか。それに参加したことはありますか。また市主催の総合防災訓練は必要と思われませんか。

- ・消防訓練は行っているが、防災・避難訓練はしていない。本番さながらの実践として各地域で取り組む必要がある。
- ・以前は訓練を行っており意識を高めることができた。福祉との関連での訓練は重要と考えるが、個人情報保護がいきすぎて情報が共有できていないので要救助者がわからない。
- ・地域全体として警察・自衛隊との連携訓練は必要と思う。

○地域防災を推進するためにもっとも必要なものは何であると思われませんか。

- ・地域コミュニティの活性化が防災にもつながる。地域の中のさまざまな方々の情報共有と参加は防災訓練が良い機会となり、加西市の地域づくりにもなる。

<p>要望・提言</p>	<p>非営利活動法人災害ボランティア加西らんより要望 ①加西市の防災体制の整備と予算確保 ②災害時要支援者の支援計画の策定と実行 ③町単位の防災訓練の実施 ④市主催の総合防災訓練の実施 ⑤自治会の防災訓練への費用補助増額・防災訓練委託費の新設 ⑥加西市在住防災士のネットワーク構築と維持(市に事務局機能)</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>・皆様のご意見を検討し、議員として一般質問及び常任委員会などで反映させ、要望が実現していくよう努力してまいります。</p>

令和4年11月21日

加西市議会議長 原田久夫様

第A班 班長 黒田秀一